



確認
29.8.21
日本チャールス・リバー株式会社 蔵

日本チャールス・リバー株式会社 蔵

ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社

神奈川県横浜市 金沢区幸浦2-1-13

JP-2360003 Yokohama - JAPAN

分析報告書

検体番号	257-2017-07000286	受領日:	2017.07.25
		分析日:	2017.08.07 - 2017.08.17
検体情報:	ホワイトフレーク		

重金属	結果 単位	定量限界
JQB06 JQ ヒ素(Asとして) 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), ICP-MS ヒ素	<0.1 mg/kg	0.1
JQA81 JQ カドミウム 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), ICP-MS カドミウム	0.23 mg/kg	0.01
JQA80 JQ 鉛 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), ICP-MS 鉛	0.14 mg/kg	0.05
JQB03 JQ 総水銀 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), HGAAS 総水銀	<0.005 mg/kg	0.005

マイコトキシン類(カビ毒)	結果 単位	定量限界
JP211 JP アフラトキシン B1, B2, G1, G2 分析方法: 食安発0816第2号(2011-08-16)修正版, LC-FLD アフラトキシン B1	<0.1 µg/kg	0.1
アフラトキシン B2	<0.1 µg/kg	0.1
アフラトキシン G1	<0.1 µg/kg	0.1
アフラトキシン G2	<0.1 µg/kg	0.1

微生物	結果 単位	定量限界
UMUP8 DT カビ 分析方法: §64 LFGB L 01.00-37 mod., 計数-培養技術 (非光発色培地) カビ	20 cfu/g	
定量限界:10		
UM274 DT 一般細菌数 (生菌数) 分析方法: ISO 4833-1, 培養法 (非酵素基質培地) 一般細菌数 (30°C)	< 10 cfu/g	
UMULP DT 大腸菌 分析方法: ISO 16649-2-M, 計数-培養技術 (発色培地) 大腸菌	< 10 cfu/g	
UMTK5 DT サルモネラ 分析方法: ISO 6579:, 検出-培養技術 (非光発色培地) サルモネラ	陰性 /25 g	

残留農薬	結果 単位	定量限界
JP274 JP ピレスロイドを含む有機塩素系農薬 DDT及び代謝物 (総和)	< 定量限界 mg/kg	
DDT, p,p'-	<0.001 mg/kg	0.001
DDT, o,p'-	<0.001 mg/kg	0.001
DDE, p,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
DDE, o,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
DDD, p,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
DDD, o,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
エンドリン	<0.002 mg/kg	0.002
ディルドリン	<0.001 mg/kg	0.001

試験結果は、依頼主より受け取った試験品目に限定したものです。試験所による承認がない限り、この試験結果報告書の一部を複写して用いることは、禁止されています。



残留農薬	結果単位	定量限界
JP274 JP ビレスロイドを含む有機塩素系農薬		
γ-BHC (リンデン)	<0.001 mg/kg	0.001
アルドリン	<0.001 mg/kg	0.001
ヘプタクロル	<0.001 mg/kg	0.001
JP278 JP 有機リン系農薬		
ダイアジノン	<0.01 mg/kg	0.01
パラチオン	<0.01 mg/kg	0.01
パラチオンメチル	<0.01 mg/kg	0.01
馬拉チオン (マラソン)	<0.01 mg/kg	0.01

ポリ塩化ビフェニル(PCB)	結果単位	定量限界
JP276 JP ポリ塩化 ビフェニル		
7 PCB測定総計	< 定量限界 mg/kg	
PCB IUPAC 28	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 52	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 101	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 118	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 138	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 153	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 180	<0.01 mg/kg	0.01

栄養成分	結果単位	定量限界
JP108 JP 乾燥減量		
含水量	7.8 g/100 g	

頭2文字が DT の試験は Inlab GmbH (Dortmund) で分析された試験です。
 頭2文字が JQ の試験は Eurofins Food and Product Testing (Yokohama) で分析された試験です。
 頭2文字が JP の試験は Eurofins Food and Product Testing (Yokohama) で分析された試験です。

Masako Yoshitake
ASM Manager

***** 以下余白 *****



日本チャールス・リバー株式会社 殿

ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社

神奈川県横浜市 金沢区幸浦2-1-13

JP-2360003 Yokohama - JAPAN

分析報告書

検体番号	257-2017-07000287	受領日:	2017.07.25
検体情報:	サンフレーク	分析日:	2017.08.07 - 2017.08.17

重金属	結果 単位	定量限界
JQB06 JQ ヒ素(Asとして) 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), ICP-MS ヒ素	<0.1 mg/kg	0.1
JQA81 JQ カドミウム 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), ICP-MS カドミウム	0.06 mg/kg	0.01
JQA80 JQ 鉛 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), ICP-MS 鉛	<0.05 mg/kg	0.05
JQB03 JQ 総水銀 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), HGAAS 総水銀	<0.005 mg/kg	0.005

マイコトキシン類(カビ毒)	結果 単位	定量限界
JP211 JP アフラトキシン B1, B2, G1, G2 分析方法: 食安発0816第2号(2011-08-16)修正版, LC-FLD アフラトキシン B1	<0.1 µg/kg	0.1
アフラトキシン B2	<0.1 µg/kg	0.1
アフラトキシン G1	<0.1 µg/kg	0.1
アフラトキシン G2	<0.1 µg/kg	0.1

微生物	結果 単位	定量限界
UMUP8 DT カビ 分析方法: §64 LFGB L 01.00-37 mod., 計数-培養技術 (非光発色培地) カビ	90 cfu/g	
UM274 DT 一般細菌数 (生菌数) 分析方法: ISO 4833-1, 培養法 (非酵素基質培地) 一般細菌数 (30°C)	80 cfu/g	
UMULP DT 大腸菌 分析方法: ISO 16649-2-M, 計数-培養技術 (発色培地) 大腸菌	< 10 cfu/g	
UMTK5 DT サルモネラ 分析方法: ISO 6579:, 検出-培養技術 (非光発色培地) サルモネラ	陰性 /25 g	

残留農薬	結果 単位	定量限界
JP274 JP ビレスロイドを含む有機塩素系農薬 DDT及び代謝物 (総和)	< 定量限界 mg/kg	
DDT, p,p'-	<0.001 mg/kg	0.001
DDT, o,p'-	<0.001 mg/kg	0.001
DDE, p,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
DDE, o,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
DDD, p,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
DDD, o,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
エンドリン	<0.002 mg/kg	0.002
ディルドリン	<0.001 mg/kg	0.001

試験結果は、依頼主より受け取った試験品目に限定したものです。試験所による承認がない限り、この試験結果報告書の一部を複写して用いることは、禁止されています。

ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社 神奈川県横浜市 金沢区幸浦2-1-13 JP-2360003 Yokohama - JAPAN



残留農薬	結果単位	定量限界
JP274 JP ピレスロイドを含む有機塩素系農薬		
γ-BHC (リンデン)	<0.001 mg/kg	0.001
アルドリン	<0.001 mg/kg	0.001
ヘプタクロル	<0.001 mg/kg	0.001
JP278 JP 有機リン系農薬		
ダイアジノン	<0.01 mg/kg	0.01
パラチオン	<0.01 mg/kg	0.01
パラチオンメチル	<0.01 mg/kg	0.01
馬拉チオン (マラソン)	<0.01 mg/kg	0.01

ポリ塩化ビフェニル(PCB)	結果単位	定量限界
JP276 JP ポリ塩化 ビフェニル		
7 PCB測定総計	< 定量限界 mg/kg	
PCB IUPAC 28	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 52	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 101	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 118	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 138	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 153	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 180	<0.01 mg/kg	0.01

栄養成分	結果単位	定量限界
JP108 JP 乾燥減量		
含水量	8.0 g/100 g	

頭2文字が DT の試験は Inlab GmbH (Dortmund) で分析された試験です。

頭2文字が JQ の試験は Eurofins Food and Product Testing (Yokohama) で分析された試験です。

頭2文字が JP の試験は Eurofins Food and Product Testing (Yokohama) で分析された試験です。

Masako Yoshitake
ASM Manager

***** 以下余白 *****



日本チャールス・リバー株式会社



ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社

神奈川県横浜市 金沢区幸浦2-1-13

JP-2360003 Yokohama - JAPAN

分析報告書

検体番号	257-2017-07000288	受領日:	2017.07.25
検体情報:	ベータチップ	分析日:	2017.08.07 - 2017.08.17

重金属	結果 単位	定量限界
JQB06 JQ ヒ素(Asとして) 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), ICP-MS ヒ素	<0.1 mg/kg	0.1
JQA81 JQ カドミウム 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), ICP-MS カドミウム	0.12 mg/kg	0.01
JQA80 JQ 鉛 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), ICP-MS 鉛	0.09 mg/kg	0.05
JQB03 JQ 総水銀 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), HGAAS 総水銀	<0.005 mg/kg	0.005

マイコトキシン類(カビ毒)	結果 単位	定量限界
JP211 JP アフラトキシン B1, B2, G1, G2 分析方法: 食安発0816第2号(2011-08-16)修正版, LC-FLD アフラトキシン B1	<0.1 µg/kg	0.1
アフラトキシン B2	<0.1 µg/kg	0.1
アフラトキシン G1	<0.1 µg/kg	0.1
アフラトキシン G2	<0.1 µg/kg	0.1

微生物	結果 単位	定量限界
UMUP8 DT カビ 分析方法: §64 LFGB L 01.00-37 mod., 計数-培養技術 (非光発色培地) カビ	20 cfu/g	
UM274 DT 一般細菌数 (生菌数) 分析方法: ISO 4833-1, 培養法 (非酵素基質培地) 一般細菌数 (30°C)	1100 cfu/g	
UMULP DT 大腸菌 分析方法: ISO 16649-2-M, 計数-培養技術 (発色培地) 大腸菌	< 10 cfu/g	
UMTK5 DT サルモネラ 分析方法: ISO 6579:, 検出-培養技術 (非光発色培地) サルモネラ	陰性 /25 g	

残留農薬	結果 単位	定量限界
JP274 JP ビレスロイドを含む有機塩素系農薬 DDT及び代謝物 (総和)	< 定量限界 mg/kg	
DDT, p,p'-	<0.001 mg/kg	0.001
DDT, o,p'-	<0.001 mg/kg	0.001
DDE, p,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
DDE, o,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
DDD, p,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
DDD, o,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
エンドリン	<0.002 mg/kg	0.002
ディルドリン	<0.001 mg/kg	0.001

試験結果は、依頼主より受け取った試験品目に限定したものです。試験所による承認がない限り、この試験結果報告書の一部を複製して用いることは、禁止されています。

ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社 神奈川県横浜市 金沢区幸浦2-1-13 JP-2360003 Yokohama - JAPAN



残留農薬	結果単位	定量限界
JP274 JP ピレスロイドを含む有機塩素系農薬		
γ-BHC (リンデン)	<0.001 mg/kg	0.001
アルドリン	<0.001 mg/kg	0.001
ヘプタクロル	<0.001 mg/kg	0.001
JP278 JP 有機リン系農薬		
ダイアジノン	<0.01 mg/kg	0.01
パラチオン	<0.01 mg/kg	0.01
パラチオンメチル	<0.01 mg/kg	0.01
馬拉チオン (マラソン)	<0.01 mg/kg	0.01

ポリ塩化ビフェニル(PCB)	結果単位	定量限界
JP276 JP ポリ塩化 ビフェニル		
7 PCB測定総計	< 定量限界 mg/kg	
PCB IUPAC 28	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 52	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 101	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 118	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 138	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 153	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 180	<0.01 mg/kg	0.01

栄養成分	結果単位	定量限界
JP108 JP 乾燥減量		
含水量	8.4 g/100 g	

頭2文字が DT の試験は Inlab GmbH (Dortmund) で分析された試験です。
 頭2文字が JQ の試験は Eurofins Food and Product Testing (Yokohama) で分析された試験です。
 頭2文字が JP の試験は Eurofins Food and Product Testing (Yokohama) で分析された試験です。

Masako Yoshitake
ASM Manager

***** 以下余白 *****